

普連土学園校友会報

平成28年7月31日

普連土学園校友会発行

電話 03-3451-7700

第 96 号

東京都港区三田 4-14-16 郵便番号 108-0073

FAX 03-3451-1959

責任者 富山 恵子

E-mail: friends@f-koyukai.com



「うちの子は活発なので、普連土学園に合うでしょうか」と聞かれることがあります。「普連土の生徒はまじめでおとなしい」というイメージも時としてあるようです。しかし「おとなしい」のが「ひ弱」ということならば、決してそうではありません。普連土学園の卒業生は「強さ」をもっていることを私は様々な場面で実感しています。昨年度95、105、115回生の3つの学年で行われたホームカミングは、大規模な催しを、違った学年でのスタッフで、果たして実現できるものかとは心配していましたが、すべてが円滑かつ成功裏に進行し、さらに今年全く別の3学年で継続して開催され

Inner light, inner strength 「内なる光、内なる力」

校長 浜野 能男

総会	人カミング
新幹	事紹介の先より
English	校長室だより
高山前	会長を偲んで
関西支	部

たことに、一人二人ではない、普連土学園卒業生が皆持つている大きな力を感じました。

創立130周年記念校友会コンサートは、「レジェンド」という、実力とともに、その活動やキャラクターも普連土学園にふさわしい素晴らしい出演者に加えて、一人でも多くの方のご来場のため、あらゆる機会を逃さず努力される担当の方々に打たれる思いがいたしました。

今年度より始まった新たな「ふれんど種まきファン」は、カードでの寄付をはじめ、さまざまな新たな試みを含んだ本校としては画期的な寄付ですが、すでに予想を上回る多くの方のお申し込みをいただいております。この企画、運営も、学園理事である富山会長を始め、校友生の学園役員が中心となって進めたものです。

学園では昨年より、広報活動で、「Inner light, inner strength」内なる光「内なる力」を打ち出しています。フレンド派の、すべての人に「内なる光」がある、自分にも、どの人

にもすばらしい価値があるという信念は、自分を信じ、また自分が進む道で会うすべての人に素晴らしい価値があることを信じ、共に手を携えて、道を切り開いていく「強さ」がその目印につながるものと訴えています。校友生の皆様の活躍は、私がこのことを様々な機会でもって伝えられる大きな後押しとなっています。普連土生の strength は、人を押しつけて自分だけが生き残る強さではありません。すべての人の価値、善を信じるからこそ、その人々の喜び、幸せを願って、共に進んでいく力です。

5月14日に、高山宜子前校友会長を想ぶ会で、高山会長に関する様々な方のお話しをうかがい、高山会長が必ず人の善を信じ、その喜びを願い、堂々明るく前を向いて生きてこられた、普連土学園の教育をそのまま体現したような生涯を送られたことをあたらめて思い、天國から大きな力づけをいただいた思いがしました。

校友生の皆様で、学園のため、人のため、何かしたい、でも自分に何がと躊躇される方がもしいらっしゃれば、どうか臆せず一歩を踏み出していただければと思います。普連土学園で学ばれた皆様には、必ず大きな奉仕のための strength が備わっていると信じています。

2016年度

校友会総会

5月28日
(土)
11時～2時30分
●新造戸稲造(旧講堂)ホール
●新渡戸ローズホール
出席者名
129名

2016年度の校友会総会は5月28日(土)に母校を会場にして開催されました。爽やかな気持ちの良い日でした。129名の出席がありました。

第一部 総合司会 副会長 山本 礼子
奏楽 酒井 恵生

礼拝 司会 会長 富山 恵子

讃美歌 326番

聖書「ヨハネによる福音書」

学校報告 校長 浜野 能男

▼広報活動に力をいれている▼生徒や校友生の方々の様々な活躍をみて普通生にはパワーがあると感じている▼昨年130周年記念の活動として「レジェンド」という普通生学

園にふさわしいすばらしい演奏者を選んでいただいた▼「ふれんど種まきファンD」を設立し寄付金をお願いする。いままではなかった画期的な企画で支援をお願いする▼今年第2回ホームカミングが行われ見事に成功させた▼WEBキャンパスを開

き、学園を家庭のパソコン、スマートフォンに繋ぎ、諸連絡と教材等を

配信し新たな時代に対応する。

事務会議事 司会 副会長 山本 礼子
2015年度年次報告

副会長 渋谷美智子

・総会 5月30日 151名出席

・バザー 11月14日後援会と共催

・校友生の当日手伝い152名

・130周年記念コンサート

11月21日

「オペラユニット・レジェンド」

・クリスマス礼拝 12月12日 87名

講師 船本弘毅氏

「天に榮光・地に平和」

・出版「会報」94号・95号発行

・お祝い贈呈

4月 新入生に校章入りタオル

9月 敬老祝いに絵葉書セット

3月 卒業生(123回生)に小

楸紗

2015年度会計・特別会計決算報告

会計 川島弥生子

(別表参照) 右は承認された。

2015年度監査報告

辻あき江監事より会計監査報告

2016年度年次計画

副会長 渋谷美智子

・ホームカミング 4月2日(土)

・学園と共催 96・101・106回

・参加151名 先生18名

・総会 5月28日(土)

・新渡戸稲造ホール、ローズホール

・バスター 10月4日(火)

・日帰りミステリーバスター

・バザー 11月12日(土)後援会と共催

・クリスマス礼拝12月10日(土)11時

・A音楽室 親睦会12時

・映画鑑賞会 3月開催予定

・出版「会報」96号2016年7月

97号2017年2月発行予定

・お祝い贈呈

4月 新入生に校章入りタオル

9月 敬老祝いに絵葉書セット

3月 卒業生に小楸紗

2016年度会計予算案

会計 川島弥生子

(別表参照) 右は承認された。

役員改選 指名委員長 村上多價子

任期満了の役員の変更の結果

(新任) 副会長 松浦栄子 79回

書記 進藤玲子 89回

浅見裕子 95回

(再任) 監事 熊澤勢以子 73回

(退任) 副会長 渋谷美智子 72回

書記 勝田公恵 71回

鈴木典子 98回

この件は承認された。

指名委員の交代承認

会長 富山 恵子

(新任) 勝田公恵 71回

(再任) 舟橋富美子 54回

田原淳子 66回

本津陽子 68回

鈴木道 69回

東谷佳子 73回

(退任) 石森陽子 64回

宮戸和子 71回

委員会委員紹介 会長 富山 恵子

同好会紹介 会長 富山 恵子

ミニコンサート

フルートコンサート

高広幸子さん(92回生)の美しく軽やかでしかも力強いフルートの演奏を楽しんだ。



第二部 親睦会 ローズホール

司会 副会長 山本 礼子

47回生から122回生までの幅広い年代に渡っての先輩・後輩の楽しい

会でした。

普通士学園校友会2015年度収支決算書

(2015年4月1日～2016年3月31日)

収入の部		(単位:円)	
科目	予算金額	決算金額	備考
会費	4,560,000	4,560,000	高校生校友会費379名+2,000円
運営費	4,200,000	4,048,500	校友生納入分(2024.25口)
バザー収益	1,300,000	1,141,305	
事業委員会収益	500,000	704,568	レジェンドコンサート収益
奉仕活動協力金	200,000	332,831	幹事会献金・クリスマス献金
雑収入	10,000	75,823	タオル・コピー・タックシール代他
雑収入	500	498	預金利息
収入計	10,770,500	10,853,525	
支出の部		(単位:円)	
科目	予算金額	決算金額	備考
総会費	300,000	267,341	謝礼・お花代他
諸人会費	100,000	85,922	幹事会お茶菓子代 他
人件費	1,400,000	1,192,000	事務手当 他
委員会活動費	650,000	628,211	事業・出版・バザー
ホームカミング費	100,000	0	
通信費	2,100,000	1,993,059	会報94号-95号, 幹事会, 総会連絡費 他
印刷費	700,000	601,686	会報94号-95号, 総会案内 他
消耗品費	800,000	577,308	事務用品, コピー機リース代及び保守代, 備蓄品 他
光熱水費	360,000	360,000	
通話料	450,000	441,650	
電話・FAX通信料	300,000	301,063	電話, FAX通信料
慶弔費	700,000	571,875	入学祝, 卒業祝, 敬老祝, お悔やみ花カード 他
支部連絡費	40,000	40,000	関西支部
クリスマス礼拝	130,000	116,688	お花代・観劇会費用・講師謝礼 他
奉仕活動費	200,000	275,000	女性の家ヘルプ, CFI, クリスマス納金
同好会補助費	120,000	120,000	コーラス部・聖書の会
雑費	20,000	8,154	振込手数料 他
基本積立	1,000,000	1,000,000	
特別積立	2,000,000	2,704,568	特別積立・事業委員会収益
奨学金積立	0	0	
予備費	300,000	0	
支出計	11,770,000	11,284,524	
差引額(収入-支出)	△999,500	△430,999	
前年度繰越金	3,084,115	3,084,115	
次年度繰越金	2,084,615	2,653,116	

会計監査の結果、適正であることをご報告いたします。

2016年5月12日

監事 止あき江 印
監事 熊澤勢以子 印

普通士学園校友会2016年度予算書

(2016年4月1日～2017年3月31日)

収入の部		(単位:円)	
科目	予算金額	備考	
在校生会費収入	4,560,000	高校生校友会費	
卒業生運営費納入	5,000,000	校友生納入分(2000口)@2,500×2000口	
バザー収益	1,100,000		
奉仕活動協力金収入	200,000	幹事会時献金・クリスマス献金等	
雑収入	160,000	タオル・コピー・タックシール代・支部連絡費戻入(15万)	
雑収入	300	預金利息	
前年度繰越金	2,653,116		
合計	13,673,416		
支出の部		(単位:円)	
科目	予算金額	備考	
総会費	300,000	謝礼・お花代 他	
諸人会費	100,000	幹事会お茶菓子代 他	
人件費	1,400,000	事務手当 他	
委員会活動費	670,000	事業・出版・バザー委員会	
ホームカミング費	30,000		
通信費	2,200,000	会報96号-97号, 幹事会, 総会連絡費 他	
印刷費	750,000	会報96号-97号, 総会案内 他	
消耗品費	800,000	事務用品, コピー機リース代及び保守代, 備蓄品 他	
光熱水費	360,000		
文通費	480,000		
電話・FAX通信料	320,000	電話, FAX通信料	
慶弔費	700,000	入学祝, 卒業祝, 敬老祝, お悔やみ花カード 他	
支部連絡費	70,000	関西支部	
クリスマス礼拝	130,000	お花代・観劇会費用	
奉仕活動費	334,000	女性の家ヘルプ・CFI・榴ゴプロジェクト	
同好会補助費	120,000	コーラス部・聖書の会	
支払手数料	250,000	運営費の振込手数料	
雑費	20,000	振込手数料 他	
基本積立	1,000,000		
特別積立	1,000,000		
奨学金積立	0		
予備費	300,000		
次年度繰越金	2,359,416		
合計	13,673,416		

2015年度特別会計収支決算書

(2015年4月1日～2016年3月31日)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
●基本金積立(校友会積立金)			
前年度繰越金	13,351,942		
経常費より	1,000,000		
利息	2,225	次年度繰越金	14,354,167
合計	14,354,167	合計	14,354,167
●特別積立(学園への寄付金積立)			
前年度繰越金	7,774,411		
経常費より	2,704,568		
利息	1276	次年度繰越金	10,480,255
合計	10,480,255	合計	10,480,255
●奨学金積立			
前年度繰越金	10,950,744		
返済	566,000	次年度繰越金	11,516,744
合計	11,516,744	合計	11,516,744
●名簿積立			
前年度繰越金	1,782,110		
利息	294	次年度繰越金	1,782,404
合計	1,782,404	合計	1,782,404
●校友会への寄付金(校友生等からの寄付金口座)			
前年度繰越金	4,395,601		
寄付	18,000		
利息	724	次年度繰越金	4,414,325
合計	4,414,325	合計	4,414,325

2016年度特別会計予算書

(2016年4月1日～2017年3月31日)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
●基本金積立(校友会積立金)			
前年度繰越金	14,354,167		
経常費より	1,000,000		
利息	1,500	次年度繰越金	15,355,667
合計	15,355,667	合計	15,355,667
●特別積立(学園への寄付金積立)			
前年度繰越金	10,480,255		
経常費より	1,000,000		
利息	1000	次年度繰越金	11,481,255
合計	11,481,255	合計	11,481,255
●奨学金積立			
前年度繰越金	11,516,744		
奨学金返済	400,000	次年度繰越金	11,916,744
合計	11,916,744	合計	11,916,744
●名簿積立			
前年度繰越金	1,782,404	名簿管理ソフト移行費	100,000
利息	300	次年度繰越金	1,682,704
合計	1,782,704	合計	1,782,404
●寄付金(校友生等からの寄付金口座)			
前年度繰越金	4,414,325		
利息	600	次年度繰越金	4,414,925
合計	4,414,925	合計	4,414,925



本校卒業生が学校へ帰ってくる機会をつくろうとの趣旨のもと昨年開催された第1回ホームカミングデー。昨年に引き続き第2回は、96、101、106回生を対象とし2016年4月2日にぎやかに開催され、151名の卒業生と18名の先生方が一同に会しました。

校庭地下A音楽室での浜野先生の礼拝、小澤先生に指揮をしていただ

第2回 ホームカミング

96 101 106 回生

2016年4月2日

いたハレルヤ合唱、旧小ホール地下のローズホールにての会食、飲

談、先生方のコメント、在学中の映像上映、中東の紛争について解説いただいた宮武先生の大人授業。どの学年の卒業生もみな在学時の顔にもどった表情と歓声とともに愉しいひとときをすごすことができました。

かりでした。世の中では女性の活躍推進が叫ばれ、それは裏を返せばまだまだ女性の活躍には困難



でもある中、それぞれの内にしっかりと力をたくわえ、丈夫な根をはり、かけがえのない存在として日々を送っていることがうかがえる、そんな卒業生が大勢いらっしゃいました。

普通土学園も昨今の女子校不人気の厳しい波に直面しているという先生からのお話しもありましたが、この卒業生の輝きが在校生保護者、受験生保護者の方に伝わっていくことを、そして普通土学園がいついつまでも素敵な女性を輩出しつづけていくことを願ってやみません。

(手島真由 106回)

さて、今回の対象学年は97、102、107回生の皆様です。お心当たりの皆様は、開催のお知らせを楽しみにお待ちください。企画・運営をしてくださる方も大歓迎です。

123
回生

新任幹事紹介!

~校友会新入会員~

学年を代表して幹事をやらせていただくので、積極的に同級生の要望を聞き、同窓会などを行いたいと思っております。宜しくお願ひ致します。
(瀬戸百合子)

(笠島聖嘉)

大学での人間関係に悩んだ時、助けてくれたのは普通土の友だちでした。123回生は私の心の拠り所です。
(石塚結希乃)

中学校舎からひっそりと見える東京タワーが大好きでした。普通土から見えた風景がどれも懐かしく思われます。
(林千弘)

幹事会に出席して、校友会の仕事の重要性和在学中から多くの卒業生のご支援があったことを知ることができました。今後は私も校友生として普通土の発展に貢献したいです。
(森山秋華)

普通土学園の精神を大切にしながら、今の生活を楽しんでいきます。そろそろ皆さんの状況も聞きたくなってきました。
(森山美里)



6C



6B



6A

「懐かしい English の先生をたずねて…」



今回 Reia Anquet 先生から

普連士学園での思い出とともにメッセージをいただきました。



Eloise (12), Nicolas, Reia & Eleonore (10).

This article has been quite a difficult one to write. I have started many times to flounder as memories and emotions hidden for fourteen years come flooding back to me. Tears swell each time I try to write. How to put into words such a defining lifetime experience as working as an English teacher at Friends School Tokyo? How to tell you how much sadness I feel in writing this article as I miss you all so very much?

I have never felt so happy or comfortable in a place or as home straight away as I did at Tokyo Friends School. What I remember above all are the remarkable and wonderful people who make up Furendo Gakkuen (and I mustn't forget - Tora-chan). The alumni whom we met through Friday discussion; administration staff who

helped us foreign teachers fit in straight away; our fantastic Japanese language teachers; fellow colleagues with whom we worked together on team teaching, curricula, school life; and especially adorable Friends School students though English lunch, English camp at Lake Yamanaka, English classes- "Eat your green peas Jack!" , English diaries, ESS, - fond memories. I wish I could mention all of your names here - you who have molded my life, enriched it, and made it such an amazing group of experiences.

Tokyo Friends School also helped me to decide that teaching would be my professional path. It is where I learnt not only to be a teacher but an educator. In 1997 when I started at your school, I had just finished my studies at the University of Tasmania, and was very excited to start a real teaching job. What I learnt as a teacher in my 4 years at your still affects me now as a University Lecturer in Grenoble, France. Working with and learning from teachers at Tokyo Friends School and especially Louisa Hatanaka, was my teachers' college par excellence. Not one teaching day goes past where I don't put to use what I learnt at Friends School: how to motivate students, how to make sure students progress, the different methods for helping students to learn, and above all how to have fun in class.

Also the Quaker education from Friends School Tokyo and Hobart Friends' School (where I was a high school student), have instilled in me the sense of what it is to be human and how to live together with others. "There is that of God in everyone" . "Let your lives speak" . "Simplicity" , "Reach into yourself to find the stillness and quietness" . My grandfather Bill Oats (a teacher at Hobart Friends' School) - who was lucky enough to visit Tokyo Friends School six months before he passed away - would talk about a need to 'nurture the human spirit' as an educator. And this is what a Friends' School does. Tokyo Friends School not only taught me how to be a good educator, but it also showed me how to fulfil and enjoy my role to the fullest as a person living in society, and I believe this is what it does for all Furendo Gakkuen students. I feel extremely lucky to have started out my career in the special place that is Tokyo Friends' School.

Dear students and colleagues I thank you so much for this experience - what a wonderful time I had with you.

(1997 ~ 2002 年在職、オーストラリア出身)

校長室だより

涙野能男



極的に取り組んでいます。

進路指導においても、時代が要請する、単に知識の蓄積ではない「自ら考え、表し、人に適切に伝えられる力」の養成のため、各学年でテーマに基づいた研究を行い、発表をしていく全学年に及ぶプログラムを始動いたしました。

すべての人は「内なる光」がある貴い存在であり、学園で共に過ごす一人一人を大切に、さらにその思いを、多くの人々に広げていくこと。一つ一つの仕事を、心を込めて誠実に行うこと。礼拝で一人一人の大切な思い、考えを分かち合うこと、沈黙の礼拝で静かに自分の心を見つめ、本当に大切なものを求めていくこと。これは時代が移ろい、人が変わっても普連士学園の変わらぬ基本です。

同時に、生徒の一人一人がそれぞれの「神の種」を開花させ、よりよい社会の建設に向けて歩んでいくために、時代が要請する能力を十分に発展させることも大きな使命です。

外国人教員も、iPadを使っている生徒のビデオ作成、スカイプを利用している海外との通信など、新たな技術を駆使しての語学教育に積

極的に取り組んでいます。

進路指導においても、時代が要請する、単に知識の蓄積ではない「自ら考え、表し、人に適切に伝えられる力」の養成のため、各学年でテーマに基づいた研究を行い、発表をしていく全学年に及ぶプログラムを始動いたしました。

授業においても学園と家庭、生徒を結び、諸連絡、授業、教材等を配信し、学校外でも繰り返し学習ができ、保護者への連絡の利便性も向上したWebCampusのシステムなど、新たなチャレンジにも普連士学園の教員は積極的に取り組んでいます。

校友生の皆様には、進路指導における職業講演や、広報説明会でご協力いただき、また、今年度より始まった「ふれんど種まきファンド」、すでに数多くの校友生の皆様よりご協力のお申し出を頂いております。物心両面で学園を力強く支えていただいていること、心からお礼申し上げます。我々もそのお気持ちに応え、学園の根本を見据えつつ、時代の要請にも応える教育を目指して邁進する所存です。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

高山前会長に

心からの感謝を込めて!!

校友会会長 富山 恵子

高山前会長は今年3月8日、天に召されました。あの明るくお元気なエネルギーッシュという言葉がびつたりだった高山さんの余りにも早い旅立ちに私たちも唯々呆然とするばかりでした。

いつも明るい笑い声が絶えない宜子さんのお人柄は校友会を躍動的にし、卒業生が母校に戻れる場をしっかりと築いてくださいました。高山前会長の時に出来た卒業生のための同好会活動は、コーラス部、手芸の会、聖書の会、手仕事の会が明るく楽しく活動しています。

校友会の副会長を3年、会長を6年その間普連士学園理事もつとめられ、長きにわたり学園のため、校友会のためにご奉仕いただきましたので、会長を退任されてからは、ご家族のためには、ご家族のために力を十分使えることとおっしゃってくださることに感謝申し上げます。



た。

でも、宜子さんのパワーを必要とされていたのは、実は天なる神様であったのだと今つくづく思わされております。

今は神様の御許に召され、苦しかった肉体から解放されて、宜子さんパワーは神様の御許で十分発揮されているのだと思います。



校友会では、去る5月14日(土)に「高山前会長を偲ぶ会」をいたしました。48名の出席者があり、静黙の中での礼拝そして第一会議室で行われた偲ぶ会では、お元気だった頃のお写真を黒板いっぱい貼りに貼り、楽しかった思い出を多くの方々がお話くださいました。高山会長も一緒にあの大きな声で「アハハ」と笑ったり涙を流したりしているのを感じるとなりました。

高山さんがお元気だった最後の9年間を校友会と学園のためにご奉仕くださったことに、あらためてここに感謝申し上げます。

普連土たより 学校近況

百六十七信

4月6日、中学入学式が行われました。新入生は入学式が始まる前の短い時間で、担任から入場の仕方、着席やお辞儀のタイミング、聖書の受け取り方等を教えてもらいます。真新しい校服に身をつつんだ129回生は、一人ひとり自らの名前が記された聖書を校長から受け取り、普連土学園の生徒としての一歩を踏み出しました。

浜野校長は、新入生にフレンド派の教えに基づき、今後の学園生活の行動の指針として「なすべき仕事や勉強に誠実に取り組み努力すること。争い、闘いが起きぬようにすること。色々な人の考え方、信じていることを尊重すること。物を浪費せず簡素な生活を送ること。人への奉仕を大切にすること」を訴えました。

◎今年度の教職員の異動
【新任】

☆非常勤講師	数学科	笠原 亮太
		熊谷 みち
		田尾 祐馬
		横田 典宣
		北原 寛子
		久保 大樹
		栗山 裕二
	理科	

【退職】

☆非常勤講師

田中 映里	美術	根上恭美子
渡邊 清	技術家庭科	
大岡 愛	英語科	
関口麻里子		
寺口 素子		
南本 淳子		
北川 正弥	聖書科	
関根 英里	カウンセラー	

サラブッシュ(英語科)	鈴木香代子(国語科)	金子 有一(数学科)	吉村 崇弘(社会科)	石原 世紀(理科)	長谷川冬樹(理科)	鈴木 彩(美術)	澤田 篤努(技術家庭科)	福家伏見子(保健体育科)	佐藤 真帆(英語科)	須能麻衣花(英語科)	松崎 紀子(英語科)	柳川 春日(英語科)	高田 倫子(論文科)	岡本 大空(聖書科)	田中 愛子(理科助手)
-------------	------------	------------	------------	-----------	-----------	----------	--------------	--------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------------

(大井 治先生記)

春の
関西フレンド会
87回生 葦野 聡子

名残りの桜がちらほらと咲く4月初旬、京都の閑静な住宅街にあるレストランで、今年度の関西フレンド会が開催されました。今年は天気にも恵まれ、下は20代の方から、上は白寿を迎えられた野村さんと幅広い年代の方々が集まりました。

東京から、校友会の富山会長と山本副会長も参加され、学校の近況、そして、ホームカミングデーのお話をして下さいました。

ホームカミングデーの話は、とても興味深く、また、羨ましく思いました。礼拝から始まり、大人の授業、そして、最後はハレルヤコーラスで締めくくられたとの話を聞いてみると、遥か昔に過ごした普連土での生活が蘇ってきました。

大人の授業の話から、教えて頂いていた先生の話になり、73回生の方も102回生の方も、そして私も同じ先生に教えて頂いていたことが分かり、長きに渡って活躍されていた先生がいらっしゃったのだと、驚くと



同時に深く感心しました。

普連土学園で学んだ時期は異なるのに、このように想い出を分かち合える人達がいるのだと嬉しく思いました。

来年は、神戸で開催されるとのこと、また、同窓生の皆さまと再会できることを楽しみに帰途に着きました。

このページの内容についてのお問い合わせは、校友会事務局(03-3451-7700)まで。

校友会だより

◆バザーのお知らせ

日時 11月12日(土) 10時~15時
バザーは後援会との共催です。

同封のチラシをご覧のうえ献品等のご協力をお願いいたします。会員の皆様のご参加とご協力をお待ちしています。

◆校友会クリスマス礼拝

日時 12月10日(土) 11時~14時

場所 普連土学園A音楽室(礼拝)

講師 伊藤文枝先生(66回生)

礼拝後生徒ホールでの親睦会では軽食をいただき、讃美歌を歌い、コーラス部のクリスマスキャロルを聴いてクリスマスを祝います。皆様のご参加をお待ちしております。
申し込みは不要です。

◆校友会事務所よりのお知らせ◆

校友会事務所のメールアドレスが変更になりました。

friends@f-koyukai.com

今後、校友会宛てにメールをお送り頂く場合は上記の新メールアドレスをお使いください。

よろしくお願い致します。

◆事業委員会からお知らせ

校友会バスツアーのご案内

今年はミステリーツアーです

恒例の校友会バスツアー 本年度は皆さんをオオロツと言わせる企画をご用意いたしました。

目的地は当日現地到着までヒミツというミステリーツアーとさせていただきます。決してがっかりさせない場所にご案内いたします。ぜひ、みなさんお誘い合わせの上、多数ご参加下さい。

日時：2016年10月4日(火)

9時集合~17時解散予定

集合・解散：田町駅西口

三菱東京UFJ銀行前

参加費：3500円

(施設入場料、昼食代込み)

募集人数：45名

●申込み方法

校友会事務所宛に次の項目を記入しFAXでお申込みください。

・タイトル

「2016年バスツアー申込」

・氏名(ふりがな明記)

・回生

・生年月日(※保険申込に必要)

訃報

謹んでお知らせ申し上げます。心より哀悼の意を表します。

39	池田 キミ(岩岡)	16・2・29	52	篠原 樹子(浅海)	16・3・21
39	松田 照子(田中)	16・3・29	57	河底 宏子(中田)	15・7
40	佐藤 信子(堀内)	15秋	58	鈴木 裕子(藤)	15・5・22
42	須田 マサ(角田)	15・11・23	58	多田 澄子(倉本)	15・5・14
43	郷田 英子(富岡)	16・1・28	59	根本 啓子(中澤)	16・1・19
43	渡辺 静子(堀田)	15・7	61	直井 幸江(細見)	16・2・6
44	村田 祥榮(青木)	16・3・25	63	栗原 敬子(若原)	15・10・16
48	浅野 京子(吉井)	16・4・29	63	露木 芳子(石田)	15・11・7
48	甲谷まり子(櫻井)		64	祖原 正子(増田)	15・11・12
48	宮内美恵子(栗山)	15・5・30	64	高田 道子(山下)	16・2・5
49	磯井 麗子(矢田)	15・4・23	64	田宮 幸子	15・4・22
50	白石多恵子(樋口)	15・1・19	66	安田 公子	16・3・23
52	A近藤 久子(高橋)	15・1・26	71	高山 宜子(宮崎)	16・3・8
52	B洪 節子(吉川)	15・7・29	74	渡邊寿美子(漆)	15・5・13
52	B酒匂 清子	16・1・5	76	山崎砂登美(藤井)	15・10・23
			77	文屋まり子	15・11
			99	佐藤美美子(曾我)	16・3・11

・当日連絡可能な電話番号
先着順となります

参加可能な方には9月以降こちらからご連絡を差し上げます。募集人員に制限のある事をご了承下さい。

※電話での申込みは受け付けません。
※9/21(水)以降のキャンセルは、参加費をお返しできません。

以上、ご不明な点は校友会事務局まで。(火)金11時~15時

FAX: 03・3451・1959

編集後記

出版委員会に新しく5名が加わりました。若い方々を迎え活気に溢れて編集を終えました。これからも魅力ある会報となる様に一同張り切っております。

千田(53)・田中(61)・入江(65)
鈴木(66)・森本(72)・渡邊(94)
熊井(102)・白井(105)・中田(117)
今奈良(121)・川上(121)